

3・11福島現地闘争へ!

2017年3月8日
No.450

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

福島現地行動隊の活動報告!

【3月6日(月)】

今日から福島現地行動隊は本格的に始動! 朝は福島学院大学入試で展開。断固として登場しました。午後は福島駅前で街宣。この期間に登場するのは実に2年ぶりですが、反応は圧倒的で、署名を集めていると知るや続々と署名をする人が出てきます。3人で1時間の展開でしたが、15筆の署名が集まり、1600円近いカンパも集まりました。

反応としては、3・18県民大会の打ち合わせを控えた県職労の役員が署名をし、「普段職場とか会議の場では(社民党は)色々答えてくれるが、選挙になると党は黙ってしまう」という声が寄せられました。その他にも、「『安倍たおせ』だけではダメだ」「(街宣している場所のすぐそばにある建物で働いているが)職場の人で避難している人がいて、今でも(故郷に)帰還せずにこの職場に通い続けているので理解で

きる」「(当時小6で、高校生になっても)今でも原発事故は終わっていないし、今でも傷が癒えていない人はたくさんいると思います」という声もありました。私たちの提起にうなずいて答えてくれる人も多いです。学生からも署名が集まりました。「集会に参加する」という人もいました!

夜は3・11集会実行委員会に参加。今年も学生はたくさん役割があるので忙しくなるぞ。

福島現地の怒りは、私たちの想像を超えています。地元新聞ではトリチウム水の扱いをどうするかが記事に上がり、街宣をやれば既成政党への不信の声が上がり、安倍政権どころか社会構造に対する怒りが上がります。

既成政党の指導下にある労働組合の幹部クラスから既成政党への不信が表明されるという中に、福島の内容が表現されています。具体的には社民党でしたが、これは社民党だけの問題ではありません。現場はもっと怒っているはず。労働組合だけでなく、地域住民・農民・学生などで責任を取って回していく、新しい社会をつくるために、団結してゼネストを組織していく、新しい労働者の政党が必要だという論議が求められています。「放射能=安全」を宣伝する御用学者との闘争も、原発研究を学生教員が拒否するストライキをやる中でしか進みません。学問をカネで買収して行われる軍事研究と本質的に同じです。それと闘う京大闘争の地平で福島に遠征できる位の内容があります。

いよいよ6年目、圧倒的な怒りの中で反原発行動は行われます。全国学生のみなさんは、福島現地に積極的に決起してください! (法政大学・H)



奪われてたまるか! 避難いのち 子どもの未来

3.11反原発福島行動'17

〈日時〉 3月11日(土)13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市 開成山・野外音楽堂

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



【3月7日(火)】

今日は福島と郡山で、3・11反原発行動の宣伝を行いました！ 12時から福島駅前では宣伝と署名集めを行い、昨日と同様、反応がとても良かったです。福島行動のノボリを見て署名がしたいと駆け寄ってくる女性もいました。

署名をしてくれたある女性は、「(事故から6年経っても)全然傷は癒えていない。避難者がとってもつらい思いをしている。それでも、補助金をもらえた、もらえないで福島県民が分断されているのが本当にくやしい」と、補助金をも使って福島の怒りを分断しようとする政府のやり方に怒りを語ってくれました。

夕方からは郡山に移動し、当日の会場周辺とデモコースを街宣車(下写真)で宣伝してまわり、17時から郡山駅前でも1時間宣伝を行いました。街宣車での呼びかけは、とても反応が良く、手をふってくれたり、あいさつをしてくれる地域住民の方がいました。「3・11反原発福島行動」というボードを貼った街宣車を駐車していると、じっと注目している小学生の男の子がいました。ビラを渡して話すことができ、3・11から6年目を迎える福島について聞いてみると、「校庭で遊ぶのもなあと思う。野菜も福島のものを買っているのかと思う」と話してくれました。福島行動のビラを笑顔で持って帰ってくれました。

郡山駅前街宣では、若者が多いということもあり、多くの学生と話すことができました。走って駅に向かっていたにも関わらず、私たちの演説聞いて引き返し、ビラをもら



いにくる学生もいました。

原発事故後、家族で自主避難しているという高校3年生の男の子は、「富岡町も開通したというがどうなっているか全く分かっていない」と帰還強制への怒りを語ってくれました。高校生2年生の男子学生のグループは「3・11の時は小学校6年生で引っ越したり、避難する友達もいて大変だった」と語り、「頑張ってください！」とエールを送ってくれました。「頑張ってくれ！ その通りだ！」と署名をしてくれたおじさんは、僕が沖縄から来たと話すと「沖縄には5回行った！ 沖縄と福島は一体だ！ 絶対に負けるなよ！」と檄を飛ばしてくれ、「ゼネストで辺野古阻止を」という見出しの『前進』を嬉しそうに持って帰ってくれました。

一日の行動を通して思ったのは、私たちの存在自体が圧倒的な求心力になっていることです。政府の復興キャンペーンや自粛ムードに負けず、3月11日を「怒りの日」として闘う中で、ついに今年は3・11が土曜日になりました。「平日だから…」と3・11当日に声をあげることを避けてきた日本共産党などの既成野党は、今年に至っても3月11日の集会開催を避けています。

もう一つ重要なことは、「帰還か、貧困か」を迫る政府の補助金での分断政策に怒りが爆発していることです。分断に対して団結した労働者・学生の闘いで社会を変えようと訴える私たちの存在が決定的になっています！

3・11まで残り3日、より多くの福島の人々の怒りと結びついていけるように頑張っていきたいです！

(沖縄大学学生自治会委員長・赤嶺知晃)



【当面する行動方針】

●3・25動労水戸支援共闘2周年集会

被曝労働拒否！ 常磐線・浪江延伸阻止！

3月25日(土) 午後2時～ すみだりパーサイドホール(墨田区吾妻橋1-23-20)にて

【主催】被曝労働拒否をたたかう動労水戸支援共闘

●“市東さんの農地を守るう！” 3・26三里塚全国集会

第3滑走路粉碎！ 安倍政権打倒！

3月26日(日) 正午～ 成田市・赤坂公園(成田ニュータウン内)にて

【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟

